

令和5年度 飯塚圏域障がい者地域自立支援ネットワーク  
第1回全体会議次第

日 時 令和5年8月25日（金）  
午後2時～  
場 所 飯塚市役所本庁  
2階多目的ホール

1 開会

- (1) 事務局からの連絡
- (2) 開会のあいさつ

2 協議

- (1) 自立支援ネットワークの活動報告
  - ① 専門部会（こども部会）
  - ② 専門部会（相談支援部会）
  - ③ 専門部会（くらし部会）
  - ④ 専門部会（就労支援部会）
- (2) 飯塚市・嘉麻市・桂川町障がい者基幹相談支援センター等運営事業  
令和4年度相談支援事業の報告及び令和5年度計画
  - ① 基幹相談支援センター
  - ② 基幹相談支援センターの機能強化事業
- (3) 地域生活支援拠点等整備事業・日中サービス支援型共同生活援助の活動報告
  - ① 地域生活支援拠点等の整備について
  - ② 体験の場について
  - ③ 日中サービス支援型共同生活援助について
  - ④ 日中サービス支援型共同生活援助の活動報告
    - ・ 障がい福祉サービス事業所ホームファイトⅡ（社会福祉法人ひなの家）
    - ・ Hilltop Garden 雅（社会福祉法人嘉穂の里）
    - ・ グループホームあさひの里（社会福祉法人天満会）
    - ・ シェアハウス喜富（一般社団法人C・ネット福岡）
- (4) 意見交換

3 閉会

## 飯塚圏域障がい者地域自立支援ネットワークの 活動について

資料 1-1 : ① 専門部会 (こども部会)

資料 1-2 : ② 専門部会 (相談支援部会)

資料 1-3 : ③ 専門部会 (くらし部会)

資料 1-4 : ④ 専門部会 (就労支援部会)

## 専門部会（こども部会）活動報告

|       |   |
|-------|---|
| 部会名   | こども部会   |
| 目的    | インクルージョン（参加・包容）の理念のもとに、障がいのある児童や医療が必要な児童、その家族が地域で安心して暮らせる地域作りを目的に、ライフステージに応じた切れ目のない支援、保健・医療・福祉・保育・教育との連携を推進していく。  |
| 構成員領域 | 医療機関／児童発達支援事業所／放課後等デイサービス事業所／保健福祉環境事務所／市町保健担当課／市町子育て担当課／市町教育委員会／市町障がい者福祉担当課／障がい者基幹相談支援センター など<br><b>※検討課題に応じて、支援機関に参加を呼びかける</b>   |
| 設置期間  | 定めなし  |
| 開催頻度  | 定めなし  |
| 活動報告  | <p><b>【令和4年度】</b></p> <p><b>【開催日】</b> 令和4年4月22日（金）<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">全体</span></p> <p><b>【参加者】</b> 13名</p> <p><b>【内 容】</b> 新たなメンバーを加え部会の構成、取り組み内容について協議</p> <p><b>【開催日】</b> 令和4年5月20日（金）<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">全体</span></p> <p><b>【参加者】</b> 11名</p> <p><b>【内 容】</b> ・部会の構成について協議<br/> ・部会の目的の再確認（支援の質の確保、インクルージョンの推進など）</p> <p><b>【開催日】</b> 令和4年6月17日（金）<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">全体</span></p> <p><b>【参加者】</b> 12名</p> <p><b>【内 容】</b> 部会の構成の確定、方針決め ※別紙参照</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 5px;"> <p><u>医療的ケア児班</u>～サポートファイルの活用、災害支援について</p> <p><u>ネットワーク班</u>～インクルージョンの推進、就労を見据えた活動も</p> <p><u>研修企画班</u>～児童通所支援施設の支援の質の向上</p> </div> <p><b>【開催日】</b> 令和4年9月30日（金）<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">全体</span></p> <p><b>【参加者】</b> 12名</p> <p><b>【内 容】</b> 各班の構成員の決定、今後は各班で活動していく</p> <p><u>医療的ケア児班</u><br/> サポートファイルの見直しや災害対策などどこから取り組むか検討し協議をすすめていく。</p> <p><u>ネットワーク班</u><br/> インクルージョンの推進についてどのようにすすめるべきか。医療、福祉、保健、保育、教育と一緒に話をできる場を模索していく。</p> <p>飯塚市のスクリーニングの実施案について。引き続きネットワーク班で検討する。</p> |

**研修企画班**

啓蒙活動の一環で講演会をしては。学校や保育所で支援をしている取組事例の話など関係機関に聞いてもらいたい。対象は各事業所や学校、保育所、保健師さんなど多くの方に。

【開催日】令和4年11月29日（火）**医療的ケア児班**

【参加者】5名

【内 容】取り組む内容について協議

まずはサポートファイルの改訂について意見交換をする。各事業所で使用事例を通し協議していく。

【開催日】令和4年12月23日（金）**ネットワーク班**

【参加者】9名

【内 容】活動内容のアイデアなど協議

インクルージョンを目的とした、医療、福祉、教育、保健、保育の連携をより深めていくことが目標。こども部会の活動を関係部署に知ってもらいながら段階を踏んで巻き込んでいく。

具体案～市民啓蒙イベントの企画、意見交換会の企画、アンケートの実施など

【令和5年度】

【開催日】令和5年4月7日（金）**全体**

【参加者】15名

【内 容】各グループの活動について報告

それぞれ前年度部会で出た意見を具体的に実行していく。学校との連携の難しさがある。この子ども部会においてインクルージョンの推進、連携作りをどのようにすすめていくか引き続き検討していく。

【開催日】令和5年7月14日（金）**ネットワーク班**

【参加者】9名

【内 容】今年度の実施計画

発達障がい児に対する支援について、この圏域の関係機関からスピーチをしてもらう。医療機関、福祉、教育、保健、保育それぞれから計5回コースで実施。10月、11月に予定。

## 専門部会（相談支援部会）活動報告書

|       |   |
|-------|---|
| 部会名   | 相談支援部会（ネットワーク型）   |
| 目的    | 飯塚圏域における相談支援体制において、障がい児者の自立や権利擁護を重視した一般相談・計画相談が実現するよう、相談支援専門員のスキルアップやネットワーク構築を目的に設置するものとする。   |
| 構成員領域 | 指定特定相談支援事業所の相談支援専門員／行政職員／障がい者基幹相談支援センター職員   |
| 設置期間  | 設置期間に定め無し   |
| 開催頻度  | 1回／2ヶ月（第3金曜日 午後）※令和5年度より第2金曜日の午後へ変更   |
| 活動報告  | <p><b>【令和4年度】</b></p> <p>■第3回相談支援部会<br/> <b>【開催日】</b> 令和4年8月19日（金）ハイブリッド形式開催<br/> <b>【参加者】</b> 29名（相談支援専門員27名／行政2名）<br/> <b>【内 容】</b>「ケーススタディー（チームアプローチについて）」<br/> ・拠点整備に関するアナウンス<br/> ・ケーススタディー（チームアプローチについて）<br/> …グループに分かれて意見交換</p> <p>■第4回相談支援部会<br/> <b>【開催日】</b> 令和4年10月21日（金）<br/> <b>【参加者】</b> 28名（相談支援専門員27名／行政1名）<br/> <b>【内 容】</b>「ミニ事例検討会」<br/> ・計画作成業務についてのアナウンス<br/> ・ミニ事例検討会<br/> …グループに分かれて、各自の事例において意見交換<br/> ・事業所紹介</p> <p>■第5回相談支援部会<br/> <b>【開催日】</b> 令和4年12月16日（金）<br/> <b>【参加者】</b> 27名（相談支援専門員26名／行政1名）<br/> <b>【内 容】</b>「ミニ事例検討会②」<br/> ・来年度の相談支援部会における体制について<br/> ・ミニ事例検討会<br/> …グループに分かれて、各自の事例において意見交換</p> |

|                       |  |
|-----------------------|--|
|                       | <p>■第6回相談支援部会</p> <p>【開催日】令和5年2月10日（金）</p> <p>【参加者】40名（相談支援専門員36名／行政4名）</p> <p>【内 容】「障がい児・者の権利擁護・虐待防止について」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度の体制について</li> <li>・「権利擁護／虐待防止について」虐待防止センター長より</li> <li>・グループワーク</li> </ul> <p>…日頃の業務で感じている権利擁護・虐待防止に関する意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「相談・通報後の動きについて」虐待防止センター長より</li> </ul> <p><b>【令和5年度】</b></p> <p>■第1回相談支援部会</p> <p>【開催日】令和5年4月14日（金）</p> <p>【参加者】42名（相談支援専門員36名、行政職員6名）</p> <p>【内 容】「事例検討①／令和5年度の部会活動について」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定相談支援事業所／行政担当者／基幹センターの自己紹介</li> <li>・令和5年度の部会活動について（年間計画をもとに）</li> <li>・事例検討①（グループ内検討）</li> </ul> <p>…グループにわかれて、各自の事例について意見交換</p> <p>■第2回相談支援部会</p> <p>【開催日】令和5年6月9日（金）</p> <p>【参加者】27名（相談支援専門員24名／行政3名）</p> <p>【内 容】「ロールプレイ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロールプレイのねらいについて…部会長より</li> <li>・企画委員によるデモンストレーション→各グループでの実践</li> <li>・グループ発表による共有</li> </ul> |
| <p>今後の活動<br/>（予定）</p> | <p>■第3回相談支援部会</p> <p>【開催日】8月18日（金）15：00～</p> <p>【参加者】相談支援専門員・行政</p> <p>【内容】「介護保険への移行支援（総合事業を中心に）」</p> <p>■第4回相談支援部会</p> <p>【開催日】10月13日（金）15：00～</p> <p>【参加者】相談支援専門員・行政</p> <p>【内容】「事例検討②」</p>  |

|      |   |
|------|---|
|      | <p>■第5回相談支援部会<br/>【開催日】12月8日（金）15：00～<br/>【参加者】相談支援専門員・行政<br/>【内容】「講演会（発達障がいへの支援に関すること）」</p> <p>■第6回相談支援部会<br/>【開催日】令和5年2月9日（金）15：00～<br/>【参加者】相談支援専門員・行政<br/>【内容】「権利擁護／令和6年度の報酬改定に関すること」</p> |
| 企画会議 | <p>【開催頻度】1回／2ヶ月（今年度は5・7・9・11月、令和6年1月・3月での開催）<br/>【場所】飯塚市役所穂波庁舎内会議室<br/>【参加者】企画委員（5名）＋基幹センター（3名）<br/>【内容】翌月以降の部会において、どのような形で実施するか検討や圏域内の相談支援体制における意見交換等</p>                                    |

## 専門部会（くらし部会）活動報告書

|       |   |
|-------|---|
| 部会名   | くらし部会（ネットワーク型）  |
| 目的    | 精神障害者が、地域の一員として、安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加（就労）、地域の助け合い、教育が包括的に確保された地域包括ケアシステムの構築を目的とする。  |
| 構成員領域 | 当事者関係団体／医療機関（精神保健福祉士）／保健所（保健師）／<br>障がい者福祉担当職員／障がい者基幹相談支援センター職員  |
| 設置期間  | 設置期間に定め無し   |
| 開催頻度  | 1回／2ヶ月（第2月曜日 14時～）  |
| 活動報告  | <p><b>【令和4年度】</b></p> <p>■第1回くらし部会<br/> <b>【開催日】</b> 令和4年5月9日（月）14:00<br/> <b>【参加者】</b> 15名<br/> （当事者関係団体2名、医療機関（精神保健福祉士）6名、保健所（保健師）3名、行政職員1名、基幹センター3名）<br/> <b>【内 容】</b>「アンケート内容についての意見交換」<br/> ・福祉サービスについて<br/> ・社会参加について</p> <p>■第2回くらし部会<br/> <b>【開催日】</b> 令和4年7月11日（月）14:00<br/> <b>【参加者】</b> 12名<br/> （当事者関係団体2名、医療機関（精神保健福祉士）4名、保健所（保健師）2名、行政職員1名、基幹センター3名）<br/> <b>【内 容】</b>「アンケート内容についての意見交換」<br/> ・地域の助け合いについて<br/> ・緊急時について</p> <p>■第3回くらし部会<br/> <b>【開催日】</b> 令和4年9月12日（月）14:00<br/> <b>【参加者】</b> 13名<br/> （当事者関係団体2名、医療機関（精神保健福祉士）4名、保健所（保健師）3名、行政職員1名、基幹センター3名）<br/> <b>【内 容】</b>「アンケート内容についての意見交換」<br/> ・経済的なことについて<br/> ・地域生活について</p> |

■第4回くらし部会

【開催日】令和4年11月14日（月）14:00

【参加者】14名

（当事者関係団体2名、医療機関（精神保健福祉士）5名、保健所（保健師）4名、基幹センター3名）

【内 容】「アンケート内容についての意見交換」

- ・住まいについて
- ・家族関係について

■第5回くらし部会

【開催日】令和5年1月16日（月）14:00

【参加者】12名

（当事者関係団体1名、医療機関（精神保健福祉士）6名、保健所（保健師）2名、行政職員1名、基幹センター2名）

【内 容】「アンケート内容についての意見交換」

- ・教育（普及・啓発）について
- ・その他について

■第6回くらし部会

【開催日】令和5年3月13日（月）14:00

【参加者】13名

（当事者関係団体2名、医療機関（精神保健福祉士）6名、保健所（保健師）2名、基幹センター3名）

【内 容】「学校における精神疾患教育に家族が望むこと」  
「今後の取り組みについて」

【令和5年度】

■第1回くらし部会

【開催日】令和5年5月8日（月）14:00

【参加者】14名

（当事者関係団体2名、医療機関（精神保健福祉士）6名、保健所（保健師）2名、行政職員1名、基幹センター3名）

【内 容】「くらし部会年間計画について」

■第2回くらし部会 大雨災害により中止

【開催日】令和5年7月10日（月）14:00

【参加者】 名

（当事者関係団体、医療機関（精神保健福祉士）、保健所（保健師）、行政職員、基幹センター）

【内容】「意見交換会に向けた準備会」

|                             |  |
|-----------------------------|--|
| <p>今後の活動<br/>(予定)</p>       | <p>■第3回くらし部会<br/> <b>【開催日】</b> 令和5年9月11日(月) 14:00<br/> <b>【参加者】</b> 当事者関係団体、医療機関(精神保健福祉士)、保健所(保健師)、行政職員、基幹センター<br/> <b>【内 容】</b> 「意見交換会に向けた準備会」</p> <p>■第4回くらし部会<br/> <b>【開催日】</b> 令和5年11月13日(月) 14:00<br/> <b>【参加者】</b> 当事者関係団体、医療機関(精神保健福祉士)、保健所(保健師)、行政職員、基幹センター<br/> <b>【内 容】</b> 「2市1町生活保護・福祉担当者との意見交換会」</p> <p>■第5回くらし部会<br/> <b>【開催日】</b> 令和6年1月15日(月) 14:00<br/> <b>【参加者】</b> 当事者関係団体、医療機関(精神保健福祉士)、保健所(保健師)、行政職員、基幹センター<br/> <b>【内容】</b> 未定</p> <p>■第6回くらし部会<br/> <b>【開催日】</b> 令和6年3月11日(月) 14:00<br/> <b>【参加者】</b> 当事者関係団体、医療機関(精神保健福祉士)、保健所(保健師)、行政職員、基幹センター<br/> <b>【内 容】</b> 未定</p> |
| <p>精神保健福祉関係者会議(Pミーティング)</p> | <p><b>【開催頻度】</b> 1回/2ヶ月(第2火曜日 14時半～)<br/> <b>【場所】</b> 基幹相談支援センター<br/> <b>【参加者】</b> 精神科病院のソーシャルワーカー、嘉穂鞍手保健福祉環境事務所の保健師、市町村職員、基幹相談支援センター職員<br/> <b>【内容】</b> 次回部会の打ち合わせや精神保健福祉に関する意見交換等</p>  |

## 専門部会（就労支援部会）活動報告書

|       |   |
|-------|---|
| 名 称   | 就労支援部会（ネットワーク型）   |
| 目 的   | 飯塚圏域における就労系福祉サービス事業所の方々が抱えている課題について、今ママでは「就労ネットワーク」「ワークサポートネットワーク」と言った任意の集まりで取り組んでいたが、今後は総合的に取り組めるように課題の整理を行い「就労支援部会」の取り組みとして、勉強会など企画・実行していくことを目的とする。   |
| 構成員領域 | 就労系福祉サービス事業所（移行支援事業所・A型事業所・B型事業所）／障がい者就業・生活支援センター／行政職員／障がい者基幹相談支援センター職員／  |
| 設置期間  | 設置期間に定め無し。  |
| 開催頻度  | 1回／月（第4水曜日 午後）開催頻度の変更有。   |
| 活動報告  | <p>昨年5月から準備会として就労支援部会設置に向けて各事業所関係者と就業・生活支援センター・基幹センターにて部会の取り組みについて協議を行ってきた。協議内容にて事業所職員・当事者を含めた所でアンケートを実施し整理を行う。令和5年4月から準備会の時に行ったアンケートを通して部会を通して取り組んでいくことを決めていく。後、今まで任意の集まりで行っていた「就労支援ネットワーク」「ワークサポートネットワーク」の企画も部会の活動に位置付けることにより全体的に取り組むことで、事業所間同士繋がることで飯塚圏域の就労系福祉サービス事業所の底上げを目指していく。</p> <p>『アンケートから出た意見』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ステップアップのきっかけ作り。（B型→A型→移行→一般）</li> <li>・B型当事者様向けに企業・A型事業についての取り組み。</li> <li>・制度改正の情報交換会。</li> <li>・現場スタッフ同士の意見交換会。</li> <li>・学校・相談支援専門員の方々との意見交換会。</li> </ul> <p>今後の予定</p> <p>「卒業に向けた進路支援」意見交換会</p> <p>日時：令和5年8月1日</p> <p>場所：庄内保健福祉総合センターハーモニー</p> <p>参加者：教職員（高等学校・特別支援学校関係者）</p> <p style="padding-left: 2em;">相談支援専門員</p> <p style="padding-left: 2em;">就労系福祉サービス事業所</p> <p style="padding-left: 2em;">（定着・移行支援・A型事業所・B型事業所）</p> <p style="padding-left: 2em;">障がい者就業・生活支援センター ハローワーク</p> <p style="padding-left: 2em;">2市1町障害福祉担当者 基幹センター</p> |

**就労支援ネットワーク（令和4年～5年度実績）**

令和4年6月 部会化についての報告  
令和4年7月 ハローワークの方と勉強会  
令和4年8月 意見交換会の振り返り・今後展開について。  
令和4年9月 就労支援と特別支援養育コーディネーターの取り組みについて  
令和4年10月 スタッフサービスクラウドワークス説明会  
令和4年11月 相談支援専門員との意見交換会  
令和4年12月 部会化に向けて意見の集約  
令和5年1月 「週20時間未満労働について」福岡県就労支援協同組合  
令和5年2月 次年度計画（前期）  
令和5年3月 次年度計画（後期）  
令和5年4月 事例検討勉強会  
令和5年5月 6月開催意見交換会の内容検討会  
令和5年6月 相談支援専門員との意見交換会

**ワークサポートネットワーク（令和4年実績）**

①企業と意見交換会振り返り・次回内容打ち合わせ

②当事者たちから話を聴く「わーさぼ研修会」

③見交換会振り返り・部会化に向けての意見

令和4年度に企業の方から障がい者雇用についての取り組みと当事者の方から現在働いている仕事の事について話題提供をいただいている。

令和5年度からは就労部会の位置づけとして、企画・実行していく。

## 飯塚圏域就労系福祉サービス事業所の全体的な取り組み

|     |   |
|-----|---|
| 名 称 | 卒業後の進路支援に向けて（オンライン）   |
| 開催日 | 令和3年8月5日（木）13時30分～15時30分  |
| 目 的 | 卒業後の就職先・就労先を決める過程で、福祉サービス制度について話題提供を行い、その後意見交換をすることで選択肢の幅を広げ、安心して地域で過ごせることを目的とする。 |
| 参加者 | ・特別支援学校・高等学校教職員担当者・就労移行事業所<br>・就労継続支援A型事業所・就労継続支援B型事業所・行政担当                       |
| 内 容 | 福祉サービス・就労アセスメント説明<br>参加事業所ご紹介 グループワーク   |

|     |   |
|-----|---|
| 名 称 | 前世代就労支援について事例を踏まえながらおおむた就労支援ネットワークの設立経緯について（オンライン）  |
| 開催日 | 令和3年9月24日（金）13時30分～15時30分   |
| 目 的 | 障がい者分野・高齢者分野問わず「家庭での課題（引きこもり）」「経済的な課題」等地域関係なくどこにでもある課題に関して、社会参加・就労できる場所などを企業と連携し取り組まれている大牟田市の活動について講演をしていただく。 |
| 講 師 | 大牟田市福祉課相談支援包括化推進員、竹下一樹氏   |
| 参加者 | 就労移行事業所・就労継続支援A型事業所・就労継続支援B型事業所<br>社会福祉協議会・地域包括支援センター・就業・生活支援センター<br>行政担当（障がい分野・高齢分野）ソーシャルワーカー                |

|     |  |
|-----|--|
| 名 称 | 第1回わーさぼ研修会   |
| 開催日 | 令和4年5月31日（火）   |
| 場 所 | 穂波交流センター若しくはオンライン  |
| 講 師 | マルマツ産業株式会社 代表取締役 國本洋規垂氏  |
| 参加者 | ・就労移行支援事業所・就労継続支援A型事業所・就労継続支援B型事業所<br>・就業・生活支援センター・社会福祉協議会・行政担当            |
| 内 容 | 第1部 「障がい者雇用の取り組みについて」<br>第2部 「企業側から福祉サービス事業所に求めるもの」<br>(当事者を交えたディスカッション形式) |

## 就労部会設置に向けた準備会（コアメンバー会議）

### 経緯

就労支援分野において、就労移行を中心とした「就労支援ネットワーク」と昨年 9 月より発足した、就労継続支援 A 型事業所・B 型事業所を中心とした「ワークサポートネットワーク」2 つの取り組みがあり、それぞれで勉強会や研修会などを企画・実施を行ってきた。

事業形態は異なるが、「障がい者の就労」を考えていくこととしては、同じ方向性で持っているため、今年 4 月より部会設置に向けて月 1 回コアメンバー会議を行っている。

### 協議内容

現在の地域の課題について話を行う。

1. B 型事業所に関する課題。
2. 卒業後の進路支援に関して支援機関・教育機関と一緒に考えていける場が少ない。
3. 学校卒業後 A 型を利用するとなると一般就労を目指しにくくなる。
4. 移行、定着支援で企業、支援機関との連携が薄くなっている
5. 就労移行の利用希望が減っている（見学者も減少傾向）
6. 企業情報が少ない。

### 部会構成メンバー

就労移行支援事業所・就労継続支援 A 型事業所・就労継続支援 B 型事業所  
障がい者就業・生活支援センター  
ハローワーク  
教育機関（高等学校・特別支援学校）  
行政（障がい福祉課）  
相談支援専門員

### 現在の取り組みと今後の予定

1. 上記に挙げた課題の整理を行い、「就労支援ネットワーク」と「ワークサポートネットワーク」の 2 つの取り組みについても検討していく。
2. 就労系の意見交換会を開催してアンケートを頂く。
3. 障がい者雇用を積極的に取り組んでいる企業との交流会。

飯塚市・嘉麻市・桂川町

障がい者基幹相談支援センター等運営事業

令和4年度相談支援事業の報告及び令和5年度計画

資料 2-1 : ① 基幹相談支援センター

資料 2-2 : ② 基幹相談支援センターの機能強化事業

飯塚市・嘉麻市・桂川町  
障がい者基幹相談支援センター等運営事業  
令和 4 年度実施報告・令和 5 年度実施計画

令和 5 年 7 月 1 8 日  
飯塚圏域障がい者地域自立支援ネットワーク  
第 1 回全体会議

## 障がい者基幹相談支援センターの業務内容と人員体制

### (1) 主な業務内容

地域の相談支援の拠点として総合的な相談業務及び成年後見制度利用支援事業を実施し、地域の実情に応じて以下の業務を行う。

#### ①総合的・専門的な相談支援の実施

障がいの種別や各種ニーズに対応する

- ・総合的な相談支援の実施
- ・専門的な相談支援の実施

#### ③地域移行・地域定着の促進の取組

- ・入所施設や精神科病院への働きかけ
- ・地域の体制整備に係る調整

#### ②地域の相談支援体制の強化の取組

- ・相談支援事業者への専門的指導、助言
- ・相談支援事業者への人材育成
- ・相談機関との連携強化の取組

#### ④権利擁護・虐待の防止

- ・成年後見制度利用支援事業
- ・虐待防止（兼・虐待防止センター）

#### ⑤地域生活支援拠点等整備事業

- ・居住支援のための機能をもつ場所や体制整備  
（相談、緊急時対応、体験の機会、専門的人材の確保、地域の体制作り）

※発達障がい児等相談支援機能強化事業については  
「こども発達療育センター事業計画（案）  
（相談部門トントン）」参照

## (2) 人員体制

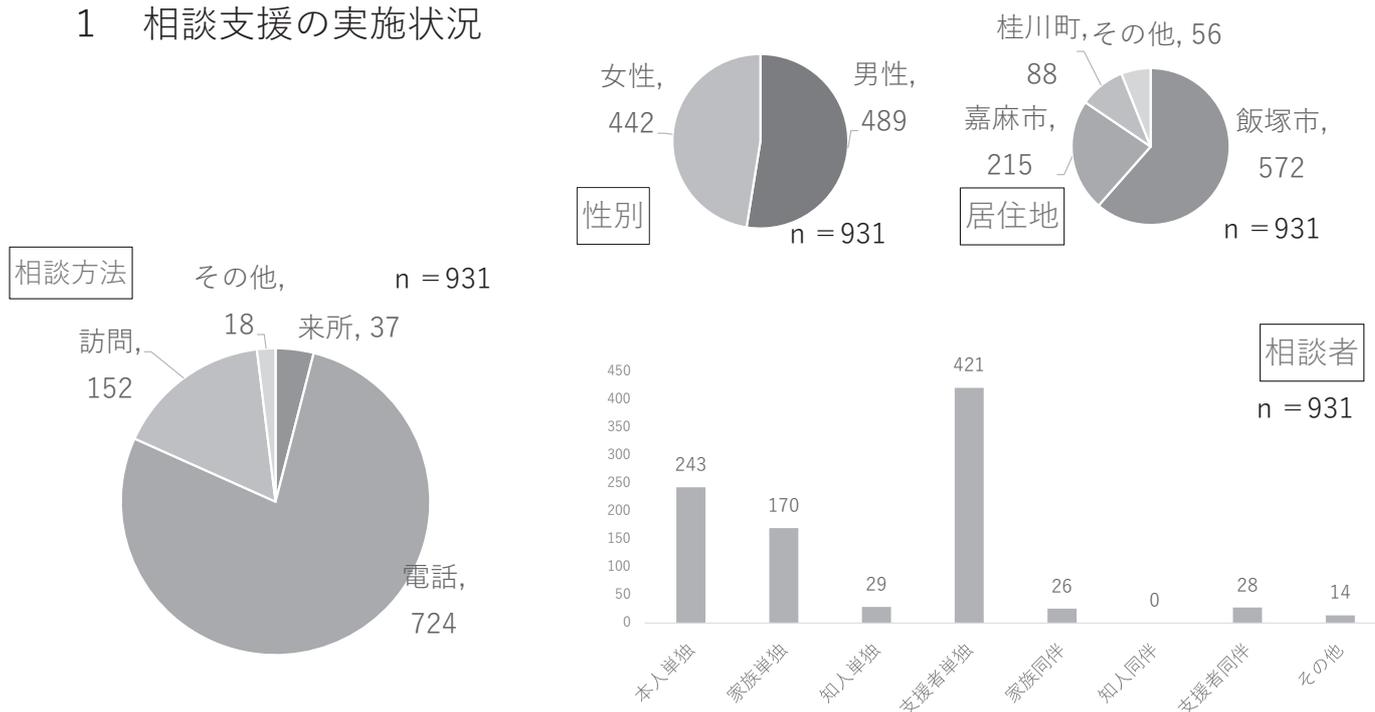
- ・ 常駐の専門的職員を配置
- ・ 業務責任者として、常勤職員のうち1名をセンター長とする
- ・ 常勤職員は概ね週40時間（月20日）の勤務
- ・ 非常勤職員は週25時間以上（月13日程度）の勤務
- ・ 非常勤職員の指定相談支援事業所または地域活動支援センター事業所との兼務は業務に支障がない範囲で可能とする
- ・ 専門的職員は相談支援専門員、社会福祉士、精神保健福祉士または保健師等の資格を有し、障がい者等の相談支援業務に関し5年以上の実務経験を有する者を配置する

| 職員配置状況 |    |
|--------|----|
| 常勤     | 8名 |
| 非常勤    | 1名 |

| 専門的資格の取得状況（重複） |    |       |    |
|----------------|----|-------|----|
| 相談支援専門員        | 9名 | 社会福祉士 | 7名 |
| 精神保健福祉士        | 6名 | 介護福祉士 | 3名 |
| 介護支援専門員        | 1名 | 保育士   | 1名 |

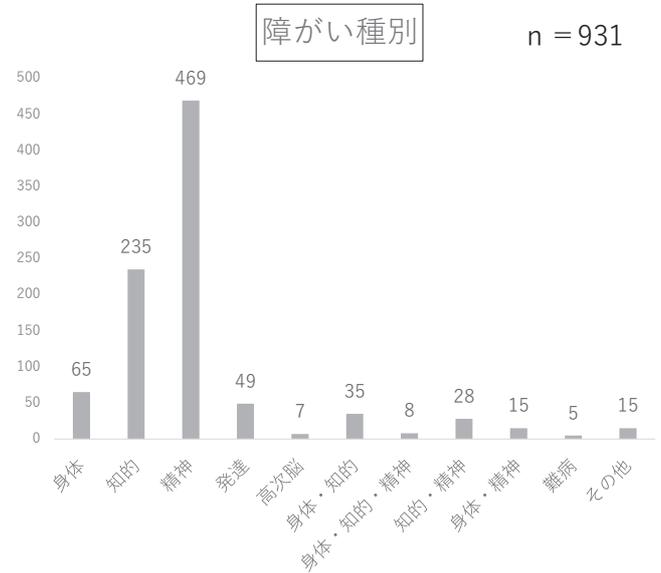
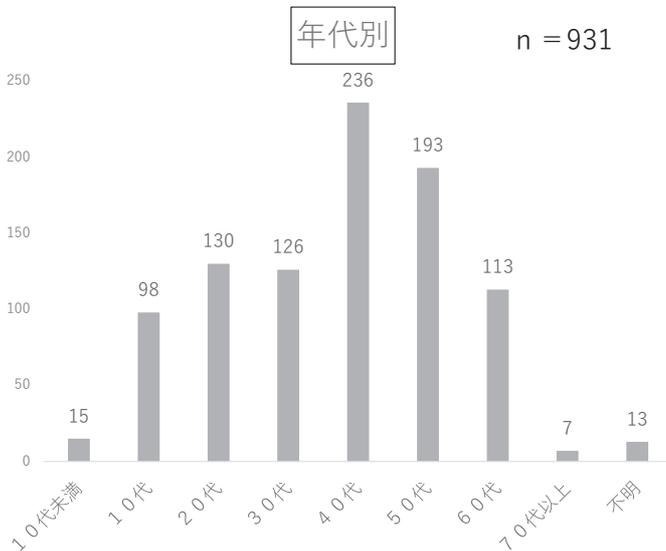
## 令和4年度実績

## 1 相談支援の実施状況



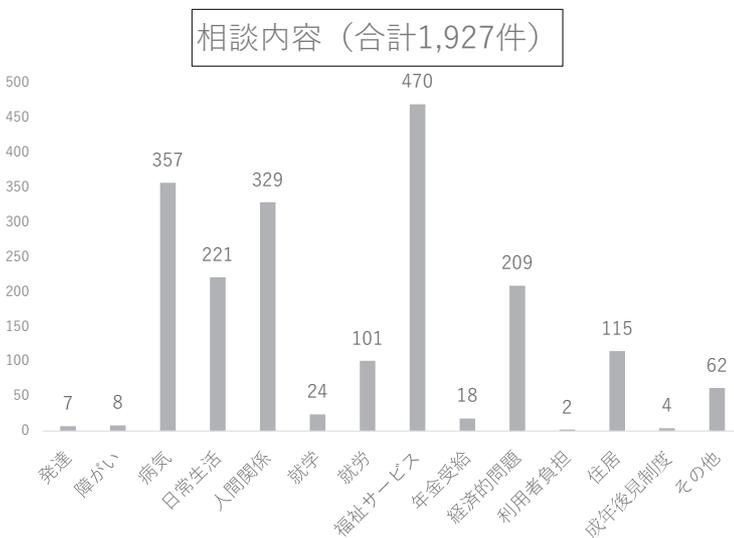
## 令和 4 年度実績

## 1 相談支援の実施状況

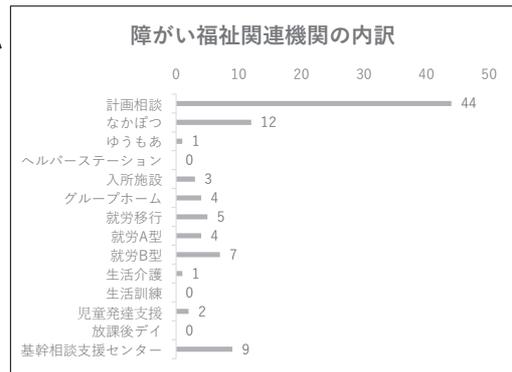
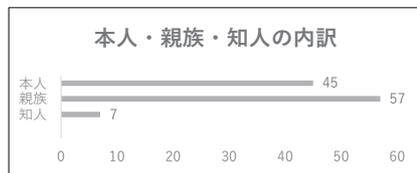
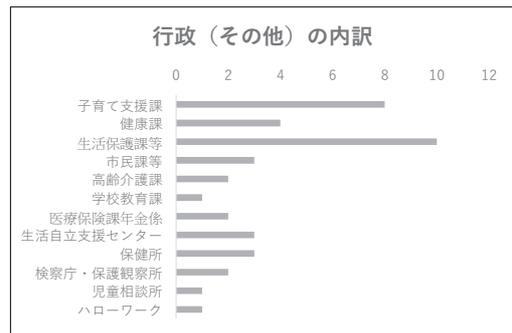
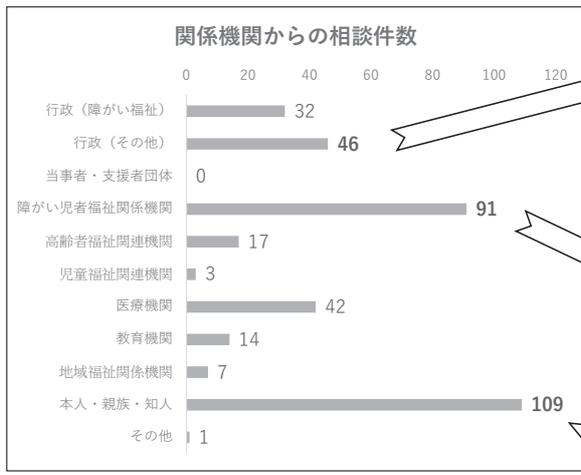


## 令和 4 年度実績

## 1 相談支援の実施状況



2 関係機関からの相談等



令和4年度実績

- 3 基幹相談支援センター会議 月2回開催
- 4 飯塚圏域自立支援ネットワークの活動内容

| 会議名     |        |         | 開催状況     | 特記事項                                       |
|---------|--------|---------|----------|--|
| 全体会議    |        |         | 年1~2回    | 7月22日                                      |
| 運営事務局会議 |        |         | 毎月第3水曜日  |  |
| 専門部会    | 相談支援部会 | 部会      | 偶数月第3金曜日 | 4月、6月、8月、10月、12月、2月                        |
|         |        | 企画会議    | 奇数月第2水曜日 | 5月、7月、9月、11月、1月、3月                         |
|         | くらし部会  | 部会      | 奇数月第2火曜日 | 5月、7月、9月、11月、1月、3月                         |
|         |        | Pミーティング | 偶数月第2火曜日 | 4月、6月、8月、10月、12月、2月                        |
|         | こども部会  | 部会      | 不定期      | 5月、6月、9月、<br>医療的ケアグループ班：11月<br>ネットワーク班：12月 |
|         | 就労支援部会 | 準備会     | 不定期      | 6月、7月、8月、9月、10月、11月、<br>12月、1月、3月          |

5 その他の活動

| 分野   |                   | 開催状況                    | 内容  |
|------|-------------------|-------------------------|---|
| 就労支援 | 就労ネットワーク会議        | 毎月1回<br>※オンライン          | 就労移行事業所のネットワーク作り  |
|      | ワークサポートネットワーク     | 毎月1回<br>5月31日<br>11月15日 | A型・B型事業所の取り組みについて<br>障がい者雇用についての取り組み（マルマツ産業）<br>A型事業所の取り組みと当事者様とのディスカッション |
|      | 学校教育との意見交換会       | 8月8日                    | 卒業に向けた進路支援について  |
| 相談支援 | 初任者研修現場実習         | 1月、3月                   | 講義と演習   |
| 研修   | スタートアップ研修         | 年3回                     | ①福祉サービスについて②年金・社会保障について<br>③虐待防止・権利擁護について                                 |
|      | スキルアップ研修          | 6月25日                   | 自閉症の理解と強度行動障害のある方への取り組みについて   |
| 地域啓発 | 地域啓発研修            | 3月10日                   | 「星に語りて」映画上映   |
| 拠点整備 | 地域生活拠点等整備打ち合わせ    | 毎月1回                    | 体制作りについて協議  |
| 機能強化 | 発達障がい児等相談支援機能強化事業 | 随時                      | こども発達療育センター相談部門トントンの連携  |

令和4年度実績

6 地域啓発・講師派遣など

| 月   | 内容   | 月  | 内容                                 |
|-----|--|----|------------------------------------|
| 6月  | 就労継続支援A型ありがとう虐待防止研修（講師参加）                            |    | 相談支援従事者初任者研修地域実習（講師参加）             |
| 7月  | 相談支援従事者指導者養成研修（実行委員参加）                               |    | 相談支援従事者現任研修<br>（ファシリ参加・実行委員会参加）    |
| 9月  | 主任相談支援専門員養成研修（実習担当）                                  | 1月 | 相談支援従事者現任研修更新者コース（ファシリ参加）          |
|     | キャンパス虐待防止研修（講師参加）                                    |    | 相談支援従事者現任研修<br>（ファシリ参加・実行委員会参加）    |
| 10月 | 相談支援従事者現任研修<br>（ファシリ参加・実行委員参加）                       | 2月 | 直方特別支援学校生徒向け<br>消費者トラブルについて（講師参加）  |
|     | 嘉麻燦燦虐待防止研修（講師参加）                                     |    | セルフちくほ法人内虐待防止研修（講師参加）              |
| 11月 | 福岡法務局飯塚駐在所人権擁護研修（講師参加）                               |    | 相談支援従事者現任研修（ファシリ参加）                |
|     | Pucca虐待防止研修（講師参加）                                    |    | 福岡病院長期入院患者向け<br>福祉サービス利用について（講師参加） |
|     | 相談支援専門員現任研修<br>（ファシリ参加・実行委員会参加）                      |    | 退院促進のための情報交換会（講師参加）                |
|     | 福岡県障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成研修<br>行政・虐待防止センター職員等コース（ファシリ参加） | 3月 | 相談支援専門員コース別研修（ファシリ参加）              |
| 12月 | 福岡県ひきこもり支援者等地域ネットワーク会議<br>（進行）                       |    | ファミリーサポートセンター講習会（講師参加）             |

## 令和 4 年度実績

## 7 研修・委員会活動等の参加実績

| 月  | 内容  | 月  | 内容                     |
|----|---|----|------------------------|
| 5月 | 子どもを地域で支える会筑豊勉強会<br>～小児虐待について～              | 8月 | 知的障がい者福祉協会会議           |
|    | 日本相談支援専門員協会総会・役員会                           |    | NSK基幹相談支援センター強化研修代表者会議 |
| 6月 | 子どもの性暴力被害の現状と課題                             |    | 地域自立支援協議会担当者会議         |
|    | 筑豊小児科医会勉強会「子どもの紫外線対策」                       |    | 福岡県医療的ケア児支援センター開設記念講演会 |
| 7月 | ネットワークふくおか役員会                               |    | 居住支援オンライン研修会           |
|    | 日精看福岡県支部筑豊地区研修会<br>～精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステム～ |    | 就学指導委員会                |
|    | 子どもを支える会「行政保健師の業務 母子保健編」                    |    | 県協議会研修部会               |
|    | 嘉麻自立相談支援センター支援調整会議                          |    | 嘉穂特別支援学校特別支援教育講演会      |
|    | 福岡県認知症医療センター認知症啓発研修会                        | 9月 | 主任相談支援専門員養成研修          |
|    | 福岡県成年後見制度利用促進研修会                            |    | 地域福祉計画グループピアリング        |
|    | 桂川町子どもネットワーク会議                              |    | 就学指導委員会                |
|    | ネットワークふくおか相談支援部会総会                          |    | 嘉麻市自殺対策委員会             |

## 令和 4 年度実績

## 7 研修・委員会活動等の参加実績

| 月   | 内容   | 月   | 内容  |
|-----|--|-----|---|
| 9月  | アディクションフォーラム定例会                              |     | 相談支援従事者現任研修                                 |
| 10月 | 飯塚市発達障がい研修会                                  |     | 筑豊緑地インクルーシブ公園ワークショップ                        |
|     | 筑豊緑地インクルーシブ公園ワークショップ                         |     | 飯塚市要保護児童対策地域協議会                             |
|     | 相談支援従事者現任研修                                  |     | ネットワークふくおか筑豊ブロック研修                          |
|     | 基幹相談支援センター強化研修                               |     | 障がい児者療育講座 身体障害者手帳と補装具の制度                    |
|     | 福岡県障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成研修                      |     | 筑豊アディクションフォーラム                              |
|     | 飯塚市障がい者施策推進協議会                               | 12月 | 精神障がい者家族・支援者研修会<br>精神障がいにも対応した地域包括ケアの構築に向けて |
|     | 県協議会事務局会議                                    |     | 嘉麻市高齢者等の虐待に関する意見交換会                         |
|     | 県協議会研修部会                                     |     | 相談支援従事者現任者研修                                |
|     | 桂川町要保護児童対策委員会                                |     | 福岡県支援事業受託施設連絡協議会研修<br>明日から始める医療的ケア児への相談支援   |
| 11月 | 相談支援従事者初任者研修                                 |     | 嘉麻市引きこもり支援者意見交換会                            |
|     | 高齢者・障がい者委員会                                  |     | 相談支援従事者初任者研修                                |
|     | 福岡県障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成研修<br>行政・虐待防止センター職員等コース |     | 福岡県自立支援協議会                                  |

## 令和 4 年度実績

## 7 研修・委員会活動等の参加実績

| 月  | 内容                                  | 月  | 内容                                     |
|----|-------------------------------------|----|--|
| 1月 | 発達障がい者支援センターゆう・もあ研修会                |    | 発達障害のある子と精神疾患を持つ母親の親子への支援子どもを地域で支える会筑豊 |
|    | 桂川町要保護児童対策協議会                       | 3月 | 嘉麻市障がい者推進施策会議                          |
|    | 就学指導委員会                             |    | 相談員国研修                                 |
| 2月 | 福岡県自立支援協議会                          |    | 筑豊圏域就労セミナーHOP!STEP!WORK!               |
|    | 知的障がい者協会個人情報に関する研修                  |    | 飯塚市要保護児童対策協議会実務者会議                     |
|    | 相談支援専門コース別研修意思決定支援コース<br>(参加・事務局)   |    | 飯塚市要保護児童対策協議会                          |
|    | 障がい者相談支援ネットワークふくおか合同研修会<br>(参加・事務局) |    | 桂川町地域福祉施策推進委員会                         |
|    | アディクションネットワーク                       |    | 夢見る小学校上映会                              |
|    | 退院促進のための情報交換会                       |    | 筑豊3センター合同業務連絡会議                        |
|    | 嘉麻市引きこもり支援者意見交換会                    |    | 慢性疾患児童等療育相談支援研修会                       |
|    | 精神障がいにも対応した地域包括ケア研修                 |    | 精神障がいへの理解を深める講演会                       |
|    | 就学指導委員会                             |    |  |

## 飯塚市・嘉麻市・桂川町 障がい者基幹相談支援センター 令和5年度 事業実施計画

(主な業務内容) 地域の相談支援の拠点として総合的な相談業務及び成年後見制度利用支援事業を実施し、地域の実情に応じて以下の業務を行う。

### ①総合的・専門的な相談支援の実施

- 障がいの種別や各種ニーズに対応する
- ・総合的な相談支援の実施
  - ・専門的な相談支援の実施

### ③地域移行・地域定着の促進の取組

- ・入所施設や精神科病院への働きかけ
- ・地域の体制整備に係る調整

### ②地域の相談支援体制の強化の取組

- ・相談支援事業者への専門的指導、助言
- ・相談支援事業者への人材育成
- ・相談機関との連携強化の取組

### ④権利擁護・虐待の防止

- ・成年後見制度利用支援事業
- ・虐待防止 (兼・虐待防止センター)

### ⑤地域生活支援拠点等整備事業

- ・居住支援のための機能をもつ場所や体制整備  
(相談、緊急時対応、体験の機会、専門的人材の確保、地域の体制作り)

※発達障がい児等相談支援機能強化事業については  
「こども発達療育センター事業計画 (案)  
(相談部門トントン)」参照

## 令和 5 年度 年間スケジュール (案)

| 月  | ネットワークの活動                               | 研修会              | 月   | ネットワークの活動                           | 研修会        |
|----|---|------------------|-----|-------------------------------------|------------|
| 4月 | 相談支援部会<br>こども部会全体会<br>就労支援部会            |                  | 10月 | 相談支援部会<br>こども部会医療的ケアグループ班<br>就労支援部会 | スタートアップ研修② |
| 5月 | くらし部会<br>就労支援部会                         |                  | 11月 | くらし部会<br>こども部会ネットワーク班<br>就労支援部会     | 権利擁護研修     |
| 6月 | 相談支援部会<br>こども部会ネットワーク班<br>就労支援部会        | スキルアップ研修         | 12月 | 相談支援部会<br>こども部会医療的ケアグループ班<br>就労支援部会 |            |
| 7月 | 全体会議<br>くらし部会<br>こども部会医療的ケア児班<br>就労支援部会 | スタートアップ研修①       | 1月  | くらし部会<br>こども部会ネットワーク班<br>就労支援部会     | スタートアップ研修③ |
| 8月 | 相談支援部会<br>こども部会医療的ケア児班<br>就労支援部会        | 卒業後の進路についての意見交換会 | 2月  | 全体会議<br>相談支援部会<br>就労支援部会            |            |
| 9月 | くらし部会<br>こども部会ネットワーク班<br>就労支援部会         |                  | 3月  | くらし部会<br>こども部会全体会<br>就労支援部会         |            |

こども発達療育センター テコテコ  
相談部門 トントン

発達障がい児等相談支援機能強化事業

◇令和4年度 事業実施報告

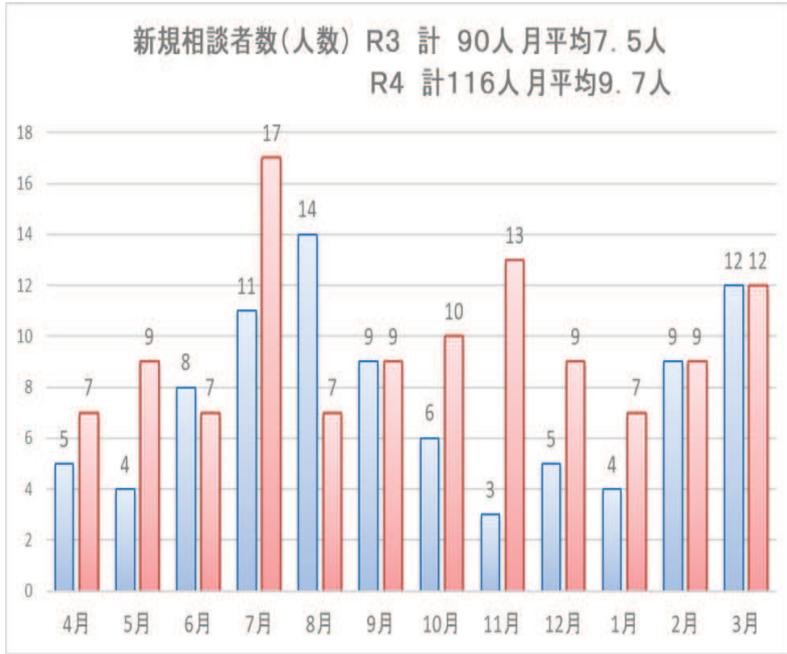
◇令和5年度 事業実施計画

令和4年度  
トントン

事業実施報告

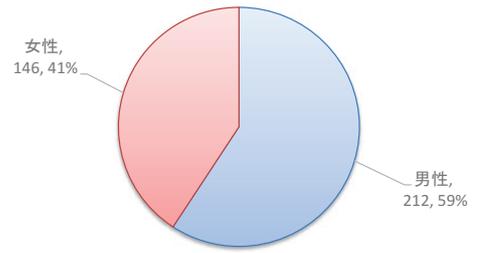
# トントン 事業実施報告

## 1. 相談者

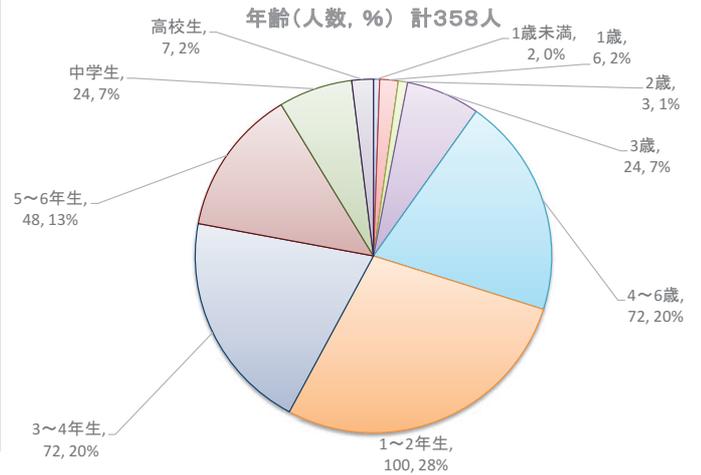


性別(人数, %) 計358人

資料 2-2



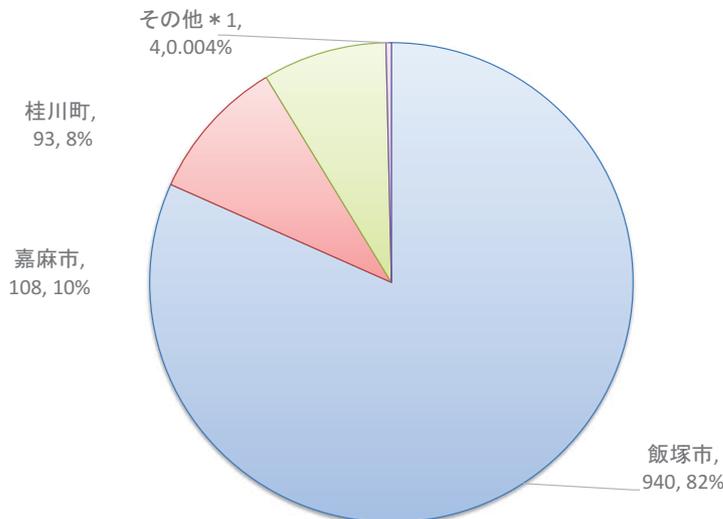
年齢(人数, %) 計358人



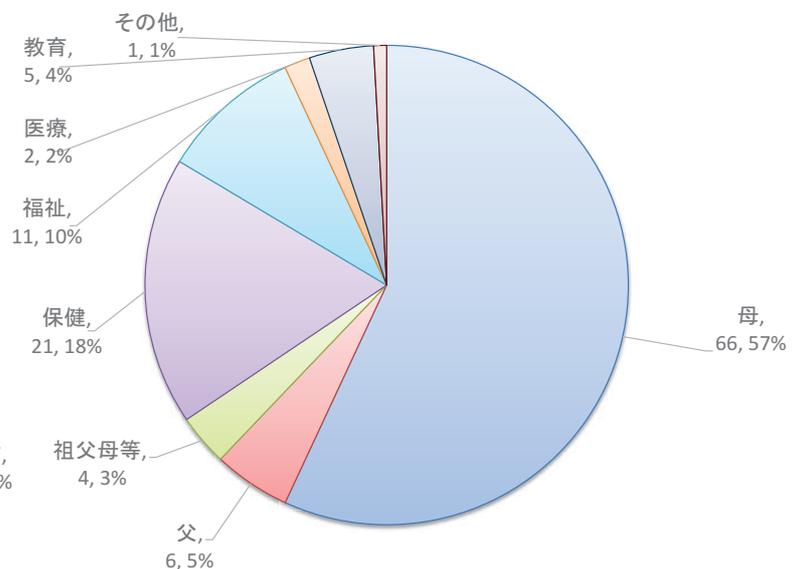
# トントン 事業実施報告

## 1. 相談者

居住地(支援回数, %) 計1145回



新規相談時 相談者(人数, %) 計116人

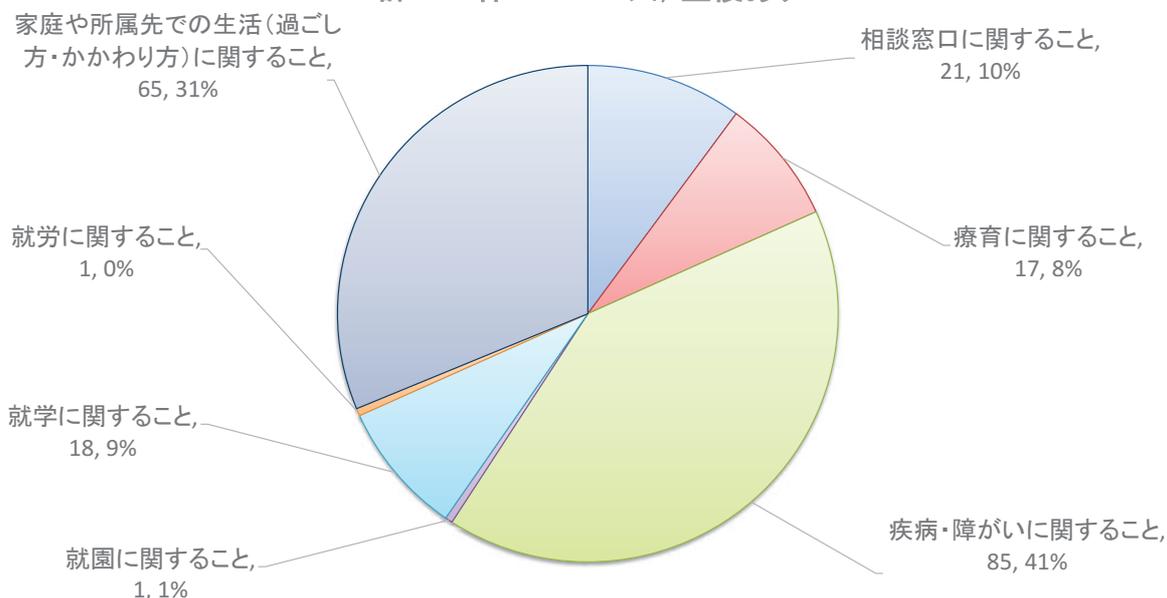


\*1 他圏域: 田川、直鞍、糟屋

# トントン 事業実施報告

## 2 . 支援内容

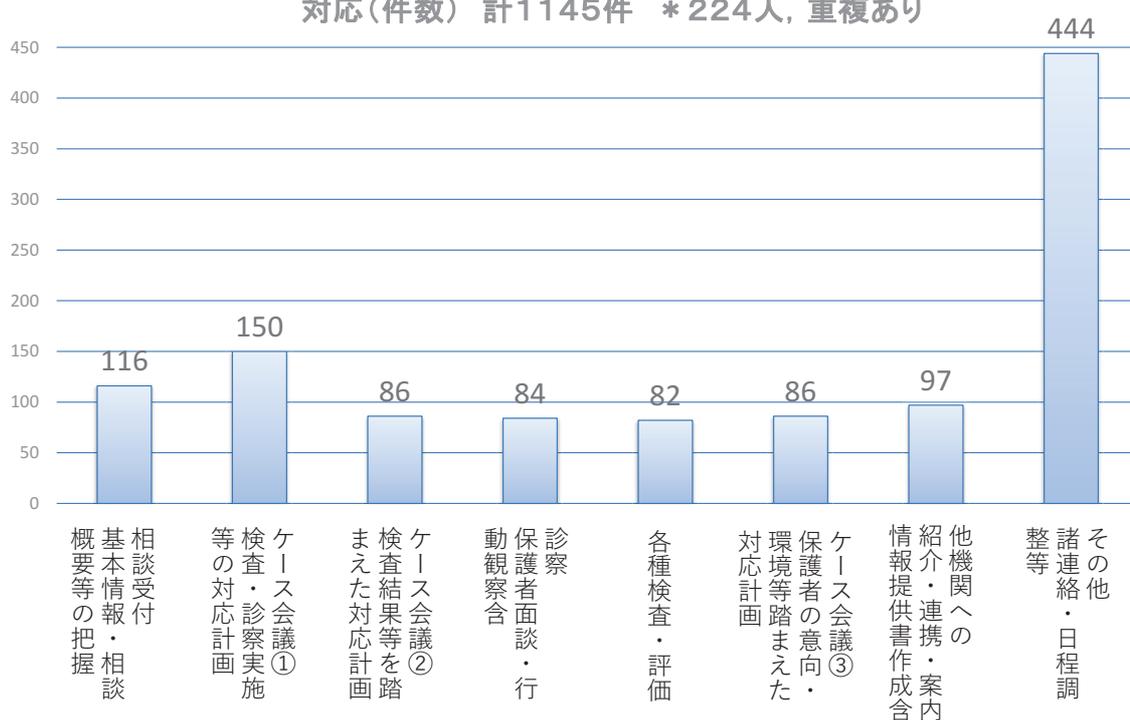
新規相談時 相談内容(受付件数, %)  
計208件 \* 116人, 重複あり



# トントン 事業実施報告

## 2 . 支援内容

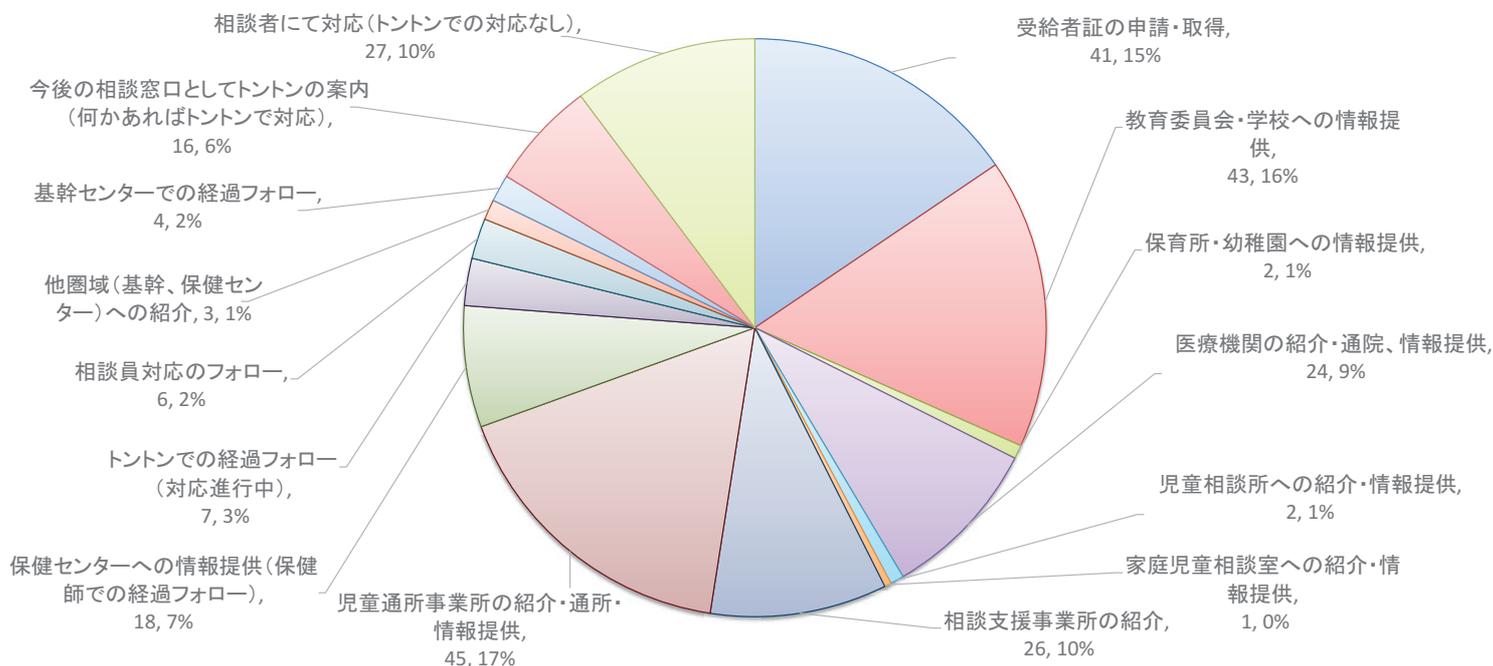
対応(件数) 計1145件 \* 224人, 重複あり



# トントン 事業実施報告

## 2. 支援内容

令和5年3月現在 帰結(件数, %) 計265件 \*224人, 重複あり



# トントン 事業実施報告

## 3. その他

- ・第2回 こども発達療育センター テコテコ 運営委員会  
令和4年5月25日
- ・飯塚病院 (リハビリテーション部 小児リハビリ) 出向  
週1回

# 令和5年度 トントン

## 事業実施計画

### 事業内容

引き続き、相談者に対し、以下のことを行う

1. 相談受付 基本情報、相談概要等の把握
2. ケース会議① 検査・診察実施等の対応計画
3. ケース会議② 検査結果等を踏まえた対応計画
4. 診察 保護者面談、行動観察含む
5. 各種検査・評価
6. ケース会議③ 保護者の意向・環境等を踏まえた対応計画
7. 他機関への紹介・連携・案内 情報提供書作成含む
8. その他 諸連絡・日程調整等

## 地域生活支援拠点等整備事業・

### 日中サービス支援型共同生活援助の活動報告

資料 3-1 : ① 地域生活支援拠点等の整備について

資料 3-2 : ② 地域生活支援拠点等の整備事業の活動報告

資料 3-3 : ③ 体験の場 障がい者用生活体験住宅について

資料 3-4 : ④ 日中サービス支援型共同生活援助の活動報告

- ・ 障がい福祉サービス事業所ホームファイトⅡ  
(社会福祉法人ひなの家)
- ・ Hilltop Garden 雅 (社会福祉法人嘉穂の里)
- ・ グループホームあさひの里 (社会福祉法人天満会)
- ・ シェアハウス喜富 (一般社団法人C・ネット福岡)

## 地域生活支援拠点等の整備とは

○障害児者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能（相談、緊急時の受け入れ対応、ひとり暮らしなどの体験の機会や場所の提供、それをサポートする専門的人材の確保・養成、地域の体制づくり）を、地域の実情に応じた創意工夫により整備し、障害児者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築すること。

### ※根拠

「障害福祉サービス及び相談支援並びに市町村及び都道府県の地域生活支援事業の提供体制の整備並びに自立支援給付及び地域生活支援事業の円滑な実施を確保するための基本的な方針」（平成 18 年厚生労働省告示第 395 号）

（この告示のなかで、「平成 29 年度末までに各市町村又は各障害福祉圏域に少なくとも一つを整備することを基本とする」との表記有）

【（最終改正 平成 29 年厚生労働省告示第 116 号）にて平成 32 年（令和 2 年）度末に変更されている】

### 【目的】

障害児者等やその家族の緊急事態に対応を図るもので、具体的には、  
 ①緊急時の迅速・確実な相談支援の実施・短期入所等の活用  
 ②体験の機会の提供を通じて、施設や親元から一人暮らし等への生活の場の移行をしやすい支援を提供する体制の整備

### 【整備手法】

整備手法としては、基本的に 2 種類があり、地域の実情に応じて整備を行う。  
 ①拠点等に必要な 5 つの機能を集約し、GH や障害者支援等に付加した「多機能拠点型」  
 ②地域における複数の機関が分担して機能を担う体制の「面的整備型」  
 上記の 2 つに限らず柔軟に検討することが必要となるが、飯塚圏域では②面的整備型での設置を目指す。

## 【拠点等に必要な機能】

支援困難な障害児者の受け入れを前提として、既に地域にある機能を含め、原則、5つの機能を備えることとしているが、必要な機能の**最終的な判断は市町村**となる。

・ 5つの機能

①相談 ②緊急時の受け入れ・対応 ③体験の機会・場の提供 ④専門的人材の確保・養成 ⑤地域の体制づくり

※医療的ケアが必要な重症心身障害、遷延性意識障害等や強度行動障害、高次脳機能障害等の支援が困難な障がい者等への対応が十分に図られるよう、多職種連携の強化を図り、緊急時の対応や備えについて、医療機関との連携も含め、各機能を有機的に組み合わせ、地域全体で支援する協力体制を構築していることが重要です。

## 必要な5つの機能の具体的な内容

### ①相談

・ 基幹相談支援センターにおいて、地域生活支援事業の市町村任意事業である「**地域移行のための安心生活支援**」を活用してコーディネーターを配置し、緊急時の支援が見込めない世帯を事前に把握・登録した上で、常時の連絡体制を確保し、障がいの特性に起因して生じた緊急の事態等に必要なサービスのコーディネートや相談その他必要な支援を行う機能。

### ②緊急時の受け入れ・対応

・ 短期入所等を活用した**常時**の緊急受入体制等を確保し、介護者の急病や障がい者の状態変化等の緊急時の受け入れや医療機関への連絡等の必要な対応を行う機能

### ③体験の機会・場

・ 地域移行支援や親元からの自立等に当たって、共同生活援助等の障害福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の機会・場を提供する機能

### ④専門的人材の確保

・ 医療的ケアが必要な者や行動障害を有する者、高齢化に伴い重度化した障害者に対して、専門的な対応を行うことができる体制の確保や、専門的な対応ができる人材の養成を行う機能。

### ⑤地域の体制づくり

・ 基幹相談支援センターにおいて、地域生活支援事業の市町村任意事業である「**地域移行のための安心生活支援**」を活用してコーディネーターを配置し、地域の様々なニーズに対応できるサービス提供体制の確保や、地域の社会資源の連携体制の構築等を行う機能。

## 飯塚市・嘉麻市・桂川町・基幹センターでの取り組み

整備手法・・・「面的整備」

整備する機能・・・5つの機能すべて

具体的な内容・・・「①相談」

コーディネーターを設置し、各相談の受付対応または緊急時の支援が見込めない世帯を事前に把握・登録を行い、常時の連絡体制を確保し、対応が必要になった場合に体制を整え対象者の受け入れ先の選定や様々なニーズに対応する。また、緊急時の受け入れ・対応の際には関係機関との連絡調整、緊急受け入れ先の選定、受け入れ後の対応（帰宅・入院・母子寮等の緊急保護施設等々の避難先の選定を行う・身内等の搜索、医療機関受診（PCR検査等）の付き添い等）を行う。

※現在、基幹センターの職員さんに専従でお願いする予定。

※専従に当たっては、新たに1名分の人件費が発生する。

※人件費については、2市1町で按分して負担する。

※設置費用については地域生活支援事業の補助対象

### 「②緊急時の受け入れ・対応」

短期入所等を活用した常時の緊急受入体制等を確保し、介護者の急病や障がい者の状態変化、その他やむを得ない理由により居宅で介護を受けることができない場合等の緊急時の受け入れを行う。

#### 受入対応施設

日中サービス支援型指定共同生活援助の指定を受けている施設

- ・ひなの家（桂川町）
- ・ヒルトップガーデン雅（桂川町）
- ・あさひの里（飯塚市）
- ・シェアハウス喜富（飯塚市）

上記4施設が選定順としては上位となる。この4施設が受け入れ困難な場合は、コーディネーターが対応可能な施設を探して依頼する。

### 「③体験の機会・場の提供」

地域移行支援や親元からの自立等に当たって、共同生活援助等の障害福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の機会・場を提供する機能

・現在の障がい者の居所としては、「重度＝入所」「中等度・軽度＝グループホームまたは自宅（身内と同居）」がほとんどである。

アパート等での一人暮らしについて希望のある方に一人暮らしを体験できる場を提供してそれが可能かどうかを本人に確認してもらう。

### 「④専門的人材の確保」

- ・ 医療的ケアが必要な者や行動障害を有する者、高齢化に伴い重度化した障害者に対して、専門的な対応を行うことができる体制の確保や、専門的な対応ができる人材の養成のために研修会等を行う。

「⑤地域の体制づくり」

- ・ 様々な障害を持つ方が、自身の希望に基づいて地域で生活できるよう、住民の方々を対象に啓発活動を行う。

## 地域生活支援拠点整備事業 活動報告書

## ◆ 開催頻度及び開催場所

開催日：1回／月

場所：桂川ひまわりの里・基幹相談支援センター

参加者：行政職員／障がい者基幹相談支援センター職員

## ◆ 活動報告

## ❖ 会議打ち合わせ

【開催日】令和4年7月19日（火）

【場 所】桂川町総合福祉センターひまわりの里

【内 容】指定相談支援事業所に向けたアンケートの内容について  
体験ルームの利用ガイドライン作成について

【開催日】令和4年8月12日（金）

【場 所】桂川町総合福祉センターひまわりの里

【内 容】指定相談支援事業所に向けたアンケートの内容手直し  
体験ルーム利用についての来年度予算に向けて

【開催日】令和4年9月15日（木）

【場 所】桂川町総合福祉センターひまわりの里

【内 容】体験ルームについて  
八女市すいれん（地域生活拠点整備事業）への質問に対する回答確認  
物件内覧について

【開催日】令和4年10月27日（木）

【場 所】桂川町総合福祉センターひまわりの里

【内 容】体験ルームの利用ガイドライン作成について  
内容の詳細確認

【開催日】令和4年11月14日

【場 所】基幹相談支援センター

【内 容】体験ルーム周知方法について  
2市1町民生委員対象の事業説明について

【開催日】令和4年12月26日（月）

【場 所】桂川町総合福祉センターひまわりの里

【内 容】福岡県地域自立支援協議会出席時の質問事項内容確認  
緊急時のサービス支給決定の取り扱いについて

【開催日】令和5年1月16日（月）  
【場 所】桂川町総合福祉センターひまわりの里  
【内 容】民生委員協議会（桂川町）での事業説明について

【開催日】令和5年2月21日（火）  
【場 所】桂川町総合福祉センターひまわりの里  
【内 容】民生委員協議会（桂川町）での事業説明について  
ケース確認や連携の状況について

【開催日】令和5年4月26日（水）  
【場 所】基幹相談支援センター  
【内 容】体験ルーム改修工事の件、契約等の確認  
民生委員児童委員協議会（飯塚市）での事業説明会について  
日中サービス支援型 GH 評価シート様式の見直し、事前説明会の件

【開催日】令和5年5月31日（水）  
【場 所】基幹相談支援センター  
【内 容】体験ルーム改修工事の件  
運営に向けての詳細確認（備品搬入・周知方法・手引き内容等）  
民児定例会（嘉麻市）での事業説明会について  
日中サービス支援型 GH 評価シート様式の見直し、事前説明会の件

【開催日】令和5年6月16日（金）  
【場 所】基幹相談支援センター  
【内 容】体験ルーム改修工事の件  
運営に向けての詳細確認（周知方法・書類関係の確認）

## 体験の場 飯塚市・嘉麻市・桂川町障がい者用生活体験住宅について

### (1) 概要

地域で生活する障がい者が自立を目的に「一人暮らしを希望する方」に対して将来を見据え、生活のイメージづくりをし、本人のもっている課題や、支援の内容を考えてもらうきっかけとして、体験の場・機会を提供する

### (2) 利用対象者

飯塚市・嘉麻市・桂川町が援護の実施者となる受給者証所持者、福祉サービスを利用していない場合は2市1町に居住している者

### (3) 利用期間

原則につき1人上限30日間／年（利用初日を基準日とする年更新制）  
※利用の区切り方は自由に可能

### (4) 費用負担

無料（但し、食費は実費）

### (5) 利用の流れ

- ①利用予約…センターへ連絡し、空き状況等の確認・利用条件等の説明  
↓
- ②利用申請…使用申請書の提出・障害者手帳の写し・サービス受給者証（所持者のみ）  
↓
- ③面談…聴き取り、体験ルーム利用時の説明  
↓
- ④利用許可…居住先市町村に報告し、利用希望者に許可の連絡  
↓
- ⑤利用開始…利用計画書の作成・鍵渡し等  
↓
- ⑥利用終了…現地確認・鍵の返却・清掃等  
↓
- ⑦利用後の評価・振り返り…体験後アンケートの記入、使用後の面談

※実際の利用開始に関しては、7月時点でまだ住宅内の整備段階のため、準備整い次第の運営を目指す。

### (6) 周知方法

各部会での事務連絡、ホームページの掲載、チラシの配布等

## 日中サービス支援型指定共同生活援助事業評価シート

記入日：令和 5 年 7 月 27 日

事業所名： 障がい福祉サービス事業所ホームファイトⅡ

|  |                                 |   |  |            |                                  |      |
|--|---------------------------------|---|--|------------|----------------------------------|------|
| 1<br>施設概要  | 事業開所日                           |   | 令和2年 4 月 1 日   |            |                                  |      |
|  | 法人名称                            |   | 社会福祉法人ひなの家   |            |                                  |      |
|  | 事業所名称                           |   | 障害福祉サービス事業所ホームファイトⅡ  |            |                                  |      |
|  | 住居名称・定員数                        |   | 住居名：   | ホームファイト4号館 | 定員：                              | 10 人 |
|  |                                 |   | 住居名：   |            | 定員：                              | 人    |
|  | 住居所在地                           |   | 嘉穂郡桂川町大字土師4293番地3  |            |                                  |      |
| 短期入所定員   |                                 | 定員： 1 人   |  |            |                                  |      |
| 2<br>利用者状況   | 障害支援区分                          | 人数  | 年齢   | 人数         | 主な障害種別利用者人数(重複はそれぞれ記入)           |      |
|  | 非該当                             | 人   | 10代以下  | 人          | 身体<br>総数： 人<br>主に日中GHで過ごす人数： 人   |      |
|  | 区分1                             | 人   | 20代  | 5人         |                                  |      |
|  | 区分2                             | 人   | 30代  | 人          | 知的<br>総数： 10人<br>主に日中GHで過ごす人数： 人 |      |
|  | 区分3                             | 人   | 40代  | 2人         |                                  |      |
|  | 区分4                             | 人   | 50代  | 1人         | 精神<br>総数： 2人<br>主に日中GHで過ごす人数： 人  |      |
|  | 区分5                             | 4人  | 60代  | 2人         |                                  |      |
|  | 区分6                             | 6人  | 65歳以上  | 人          | 難病<br>総数： 人<br>主に日中GHで過ごす人数： 人   |      |
|  | 合計                              | 人   |  |            |                                  |      |
|  | 障害特性                            |   | 医療的ケアの必要な者： 人  |            |                                  |      |
|  |                                 | 強度行動障害のある者： 6人  |  |            |                                  |      |
| 3<br>運営・支援について   | 1) 日中の支援方法について                  |   |  |            |                                  |      |
|  | ①日中をグループホームに過ごす利用者に対するの支援について。  |   | 体調不良時は通院やバイタルチェック等を行いながら支援員や看護師が観察を行う。精神面での不調の際は、様子観察や散歩に付き添うなどそれぞれの状態に合わせた個別支援を行っている。通所支援員とも情報の共有を行う。 |            |                                  |      |
|  | ②外出や余暇活動の支援について。                |   | 買い物や外食、ドライブ、登山、プール、野球観戦、宿泊体験旅行など休日に行事を企画し、社会資源の活用支援を行い、充実した余暇が送れるように支援している。                            |            |                                  |      |
|  | ③利用者の希望に沿った適切なサービス利用に関する支援について。 |   | 月に1回ホームミーティングを開き、利用者さんから要望を聞いている。そこで出た意見を基に行事の企画等を行っている。   |            |                                  |      |
|  | 2) 地域との交流方法                     |   |  |            |                                  |      |
|  | ①利用者と地域との交流を広げるための取り組みについて。     |   | 地域の一斉清掃や地域行事への参加、日常的に挨拶等を行い、顔見知りになれるような地域交流を行っている。また、避難訓練時には地域の方に周知し、何かあった際には協力をお願いしている。避難場所の提供も受けている。 |            |                                  |      |
| 3) 利用者の健康管理  |                                 |   |  |            |                                  |      |
| ①利用者の体調変化による緊急時の迅速な対応について・利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫について。 |                                 | 日常的にバイタルチェック、健康チェックを行い、表情や食欲等を観察し、必要に応じて協力医と連携し、指示がもらえる体制を整えている。又、年に一度の健康診断や胃カメラ、大腸検査、女性の方は併せて乳がん・子宮がん検診を積極的に受けて頂き、早期発見早期治療を目指している。ダンス体操なども取り入れて、楽しんで運動ができ、身体機能の維持やレベルアップなど成果が出ている。 |  |            |                                  |      |

|  |   |
|--|---|
| 4) 利用者の食事について                              |   |
| ①利用者の心身の状況に応じた食事提供と支援について。                 | 地元の食材をふんだんに使用し、季節の野菜を多く取り入れ、出汁からこだわってとり、手作りで家庭的な料理の提供を行っている。保護者へも試食会を開催し、美味しい食事の提供を心がけている。  |
| ②食事は利用者の志向を考慮した献立を基本として美味しく食べられる工夫について。    | 定期的に利用者の希望を聞き、メニューに取り入れている。食器にもこだわり、木材の食器や本物の陶器を使い、ぬくもりや物を大切に扱うことの大切さを学べる取り組みも合わせて行っている。  |
| 5) 利用者の権利擁護の配慮について                         |   |
| ①利用者のプライバシー保護と権利擁護に配慮した取り組みについて。           | プライバシーの保護については書類等は厳重に取り扱いを行い、HP・SNS等での顔写真の使用についての同意書を頂いている。権利擁護についても身体拘束を禁止し、研修会を行い意識や知識を高めている。   |
| ②利用者の権利擁護のため、虐待等の権利侵害の防止・発生時の対応について。       | 定期的に外部講師による権利擁護・虐待研修を行い、職員の意識と知識を高めている。また不適切な支援については事例検討を行い、支援の振り返りを行っている。  |
| ③利用者の金銭管理に方法について。                          | 金銭管理については物の購入者、確認者2名で確認している。また保護者が来所した際には通帳や銀行の引き出し表の確認を行っている。  |
| 6) 利用者の安全確保                                |   |
| ①安心・安全な福祉サービスの提供を目的としたリスクマネジメント体制について。     | 些細なことからのヒヤリハットや事故報告書の提出、改善を行い事故防止を行っている。さらに食中毒や感染症等の研修会に参加し知識を高めている。さまざまなマニュアルの作成なども行い、統一した対策や対処ができるよう取り組んでいる。  |
| ②災害時における利用者の安全確保のための取り組みについて。              | 年に2回の避難訓練の実施や非常用滑り台の設置、災害倉庫の設置、スプリンクラーの設置、日常的な避難経路の確認・チェックを行っている。   |
| 7) 計画相談                                    |   |
| ①利用者に対するモニタリングが適切に実施されるように相談支援事業所との連携について。 | 定期的に計画相談員とサービス管理責任者立会いのもと、モニタリングを実施し、本人の要望や現在の生活の様子を伝えている。また、何かトラブルや変化が起きた時には相談支援専門員にも連絡を行っている。   |
| ②別法人の計画相談作成者数。                             | ②別法人の計画相談作成者数 10 人  |
| ③自法人の計画相談作成者数。                             | ③自法人の計画相談作成者数 人   |
| 8) 職員の質の向上に向けた体制作り                         |   |
| ①職員一人一人の育成に向けた取り組みについて。                    | 研修として重度障がい者への支援研修や虐待防止研修の開催、外部研修に参加することで知識やスキルの向上を行っている。<br>新人研修カリキュラムや人事考課制度を取り入れ、法人全体でレベルアップを目指す。月に一度は必ず各部署の会議を行い、情報の共有や支援の改善や課題などに対応できる環境作りに取り組んでいる。 |
| 9) 短期入所の受け入れ                               |   |
| ①地域で生活する障がいのある方を積極的に受け入れているか。              | ①(通常受け入れ人数)<br>月平均 5 人  |
| ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。                  | ②(緊急受け入れ人数)<br>年間 2 人<br>(緊急受け入れ事例)<br>災害時の受け入れ、ネグレクト対応   |

| 10) 自由意見                   |  |
|----------------------------|--|
| ①日中支援型を行うにあたって課題について等…自由記入 | 緊急時の受け入れに対して、出来る限り受け入れを行っていきたい。その際に対象者の情報が分かりづらい。緊急の際の必要最低限の情報共有シートなどがあれば、施設側も受け入れや支援がスムーズに行える。<br>特にアレルギー、服薬情報や第三者からの保護の有無など。 |

※お忙しい中ご協力ありがとうございました。

## 日中サービス支援型指定共同生活援助事業評価シート

記入日：令和 5年 7月 12日

事業所名： Hilltop Garden 雅

|  |                                 |   |  |         |                        |
|--|---------------------------------|---|--|---------|------------------------|
| 1<br>施設概要  | 事業開所日                           |   | 令和2年 7月 1日   |         |                        |
|  | 法人名称                            |   | 社会福祉法人 嘉穂の里  |         |                        |
|  | 事業所名称                           |   | Hilltop Garden 雅   |         |                        |
|  | 住居名称・定員数                        |   | 住居名： E棟  | 定員： 10人 |                        |
|  |                                 |   | 住居名： W棟  | 定員： 10人 |                        |
|  | 住居所在地                           |   | 福岡県嘉穂郡桂川町土師1103-29   |         |                        |
| 短期入所定員   |                                 | 定員： 5人  |  |         |                        |
| 2<br>利用者状況   | 障害支援区分                          | 人数  | 年齢   | 人数      | 主な障害種別利用者人数(重複はそれぞれ記入) |
|  | 非該当                             | 人   | 10代以下  | 人       | 身体 総数： 人               |
|  | 区分1                             | 人   | 20代  | 1人      | 主に日中GHで過ごす人数： 1人       |
|  | 区分2                             | 人   | 30代  | 3人      | 知的 総数： 5人              |
|  | 区分3                             | 人   | 40代  | 2人      | 主に日中GHで過ごす人数： 5人       |
|  | 区分4                             | 人   | 50代  | 3人      | 精神 総数： 人               |
|  | 区分5                             | 1人  | 60代  | 5人      | 主に日中GHで過ごす人数： 人        |
|  | 区分6                             | 19人   | 65歳以上  | 6人      | 難病 総数： 人               |
|  | 合計                              | 20人   |  |         | 主に日中GHで過ごす人数： 人        |
|  | 障害特性                            |   | 医療的ケアの必要な者： 人  |         |                        |
|  |                                 | 強度行動障害のある者： 14人   |  |         |                        |
| 3<br>運営・支援について   | 1) 日中の支援方法について                  |   |  |         |                        |
|  | ①日中をグループホームに過ごす利用者に対する支援について。   |   | 個別支援計画のもと、生活支援を中心に健康管理や障害特性に合わせて機能訓練、脳トレ、軽運動等でADL等の残存機能維持を行う。              |         |                        |
|  | ②外出や余暇活動の支援について。                |   | 月に2回の買い物等の外出、余暇時間は併設のカフェ利用やカラオケやウォーキングマシンを使って運動やダンスを行う。                    |         |                        |
|  | ③利用者の希望に沿った適切なサービス利用に関する支援について。 |   | アンケート調査を事前に行い、要望事項として会議の場で検討し利用者様のニーズに沿った、個別支援計画を年2回作成して実行へと移す。            |         |                        |
|  | 2) 地域との交流方法                     |   |  |         |                        |
|  | ①利用者と地域との交流を広げるための取り組みについて。     |   | 行政区の加盟やもちつき交流会等で地域のボランティアの方や学生との交流を図る。また併設しているカフェを定期的に利用することで地域の方々との交流を行う。 |         |                        |
| 3) 利用者の健康管理  |                                 |   |  |         |                        |
| ①利用者の体調変化による緊急時の迅速な対応について・利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫について。 |                                 | 常勤看護師による毎日の健康チェックや協力医の訪問を行っている。緊急時は対応マニュアルを活用することで24時間の迅速な対応が行える。また定期的な訪問リハ、訪問看護、訪問マッサージを利用者が個別契約書で毎日の健康状態を保てるように出来ている。 |  |         |                        |

|  |   |
|--|---|
| 4) 利用者の食事について                              |   |
| ①利用者の心身の状況に応じた食事提供と支援について。                 | 常勤栄養士による、重度、高齢利用者様への対応メニュー（カロリー、減塩、食事形態など）を取り入れて、また食欲低下利用者様には、個別の栄養補助食品や補助飲料の提供もを行っている。                   |
| ②食事は利用者の志向を考慮した献立を基本として美味しく食べられる工夫について。    | 年2回の嗜好調査をメニューに反映し、食事提供時ではリビングでの雰囲気づくり（BGM等）を考えて行っている。   |
| 5) 利用者の権利擁護の配慮について                         |   |
| ①利用者のプライバシー保護と権利擁護に配慮した取り組みについて。           | 同性介助を基本に、個室やプライベート空間を重視して、意見箱の活用として要望書等でニーズ沿った対応を行っている。   |
| ②利用者の権利擁護のため、虐待等の権利侵害の防止・発生時の対応について。       | 事故や怪我等による防犯カメラでの現場確認や第三者評価を受け外部からの確認等を行った。  |
| ③利用者の金銭管理に方法について。                          | 金銭管理は事業所で行い、必要に応じて利用者様の要望等で等入出金を行う共に毎月の出納帳による確認と保護者等への通知を行っている。   |
| 6) 利用者の安全確保                                |   |
| ①安心・安全な福祉サービスの提供を目的としたリスクマネジメント体制について。     | 防災、防犯、緊急時の訓練やマニュアルの見直しを定期的に行い、連絡網では24時間体制で行っている。またイベント等には事前に危険予知活動を行っている。                                 |
| ②災害時における利用者の安全確保のための取り組みについて。              | 年2回の避難訓練を通して、スタッフ、利用者様への周知と法人内の他事業所との連携や被災受入れ等での安全確保を行うようにしている。また災害等の内外研修を行っている。                          |
| 7) 計画相談                                    |   |
| ①利用者に対するモニタリングが適切に実施されるように相談支援事業所との連携について。 | 当事業所内に相談支援事業所を併設しているため、定時モニタリングはもとより、毎日の様子観察も行っている。   |
| ②別法人の計画相談作成者数。                             | ②別法人の計画相談作成者数 0 人   |
| ③自法人の計画相談作成者数。                             | ③自法人の計画相談作成者数 20 人  |
| 8) 職員の質の向上に向けた体制作り                         |   |
| ①職員一人一人の育成に向けた取り組みについて。                    | 新規スタッフには新人育成マニュアルに沿って勤務してもらい、勤続年数によって育成研修等を行い、年2回の知識向上テストと法人内部研修を行っている。また定期的な個別面談のみより疑問点等で業務改善の取組みが行えている。 |
| 9) 短期入所の受け入れ                               |   |
| ①地域で生活する障がいのある方を積極的に受け入れているか。              | ①(通常受け入れ人数)<br>月平均 0 人  |
| ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。                  | ②(緊急受け入れ人数)<br>年間 0 人<br>(緊急受け入れ事例)   |

| 10) 自由意見                    |  |
|-----------------------------|--|
| ①日中支援型を行うにあたって課題について等・・自由記入 |  |

※お忙しい中ご協力ありがとうございました。

## 日中サービス支援型指定共同生活援助事業評価シート

記入日：令和 5 年 7 月 7 日

事業所名： グループホーム第二あさひの里

|  |                                 |   |   |     |                                   |
|--|---------------------------------|---|---|-----|-----------------------------------|
| I<br>施設概要  | 事業開所日                           |   | 平成 31 年 4 月 1 日   |     |                                   |
|  | 法人名称                            |   | 社会福祉法人 天満会  |     |                                   |
|  | 事業所名称                           |   | グループホーム 第二あさひの里   |     |                                   |
|  | 住居名称・定員数                        |   | 住居名： グループホーム 第二あさひの里  | 定員： | 18 人                              |
|  |                                 |   | 住居名：  | 定員： | 人                                 |
|  | 住居所在地                           |   | 福岡県飯塚市椋本457-3   |     |                                   |
| 短期入所定員   |                                 | 定員： 2 人   |   |     |                                   |
| 2<br>利用者状況   | 障害支援区分                          | 人数  | 年齢  | 人数  | 主な障害種別利用者人数(重複はそれぞれ記入)            |
|  | 非該当                             | 人   | 10代以下   | 人   | 身体<br>総数： 6人<br>主に日中GHで過ごす人数： 2人  |
|  | 区分1                             | 人   | 20代   | 4人  |                                   |
|  | 区分2                             | 人   | 30代   | 2人  | 知的<br>総数： 16人<br>主に日中GHで過ごす人数： 7人 |
|  | 区分3                             | 人   | 40代   | 4人  |                                   |
|  | 区分4                             | 4人  | 50代   | 3人  | 精神<br>総数： 5人<br>主に日中GHで過ごす人数： 3人  |
|  | 区分5                             | 5人  | 60代   | 3人  |                                   |
|  | 区分6                             | 8人  | 65歳以上   | 1人  | 難病<br>総数： 0人<br>主に日中GHで過ごす人数： 0人  |
|  | 合計                              | 17人   |   |     |                                   |
|  | 障害特性                            |   | 医療的ケアの必要な者： 0人  |     |                                   |
|  |                                 | 強度行動障害のある者： 3人  |   |     |                                   |
| 3<br>運営・支援について   | 1) 日中の支援方法について                  |   |   |     |                                   |
|  | ①日中をグループホームに過ごす利用者に対するの支援について。  |   | 健康管理（定期受診・服薬・食事）、適度な運動（ラジオ体操・リハビリ体操・レクリエーション等）、月・水・金を軸とする入浴支援、身の回りの支援等を行っている。 |     |                                   |
|  | ②外出や余暇活動の支援について。                |   | 天気の良い日は外気浴や散歩、軽度なレクリエーション・季節行事や郊外ドライブ等を行っている。                                 |     |                                   |
|  | ③利用者の希望に沿った適切なサービス利用に関する支援について。 |   | 買い物支援・買い物代行等の実施。また、外出同行や家族への電話掛け、家族への要望や伝言の支援等実施。                             |     |                                   |
|  | 2) 地域との交流方法                     |   |   |     |                                   |
|  | ①利用者と地域との交流を広げるための取り組みについて。     |   | 現在特にできていないが、散歩時に近隣住民への挨拶を行っている。今後施設行事開催時は地域への声掛けも行いたいと考えている。                  |     |                                   |
| 3) 利用者の健康管理  |                                 |   |   |     |                                   |
| ①利用者の体調変化による緊急時の迅速な対応について・利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫について。 |                                 | 利用者様の異変に早期に気づけるよう、毎日の水分摂取量・排便のコントロール等健康観察を行いながら、定期的な外来受診の同行、訪問診療時の立会等医療へ報告・相談行いながら連携に勤めている。 |   |     |                                   |

|  |   |
|--|---|
| 4) 利用者の食事について                              |   |
| ①利用者の心身の状況に応じた食事提供と支援について。                 | 個々の体調に合った食事形態（主食・主菜等）を提供している。自力摂取困難な利用者様は介助で食事支援を行っている。                     |
| ②食事は利用者の志向を考慮した献立を基本として美味しく食べられる工夫について。    | 利用者様に希望を聞き、お好みの食事の提供を月に1回実施し、行事食等季節に合った献立の提供も試みている                          |
| 5) 利用者の権利擁護の配慮について                         |   |
| ①利用者のプライバシー保護と権利擁護に配慮した取り組みについて。           | 同性介護を基本とし、特に入浴・排泄については可能な限り配慮に努めている。権利擁護に関しては個人ファイルは、外部の目に触れないよう書庫にて管理している。 |
| ②利用者の権利擁護のため、虐待等の権利侵害の防止・発生時の対応について。       | 月1回、虐待研修の実施に取り組んでいる。また職員への個別研修やセルフチェックの提出を求め義務付けている。                        |
| ③利用者の金銭管理に方法について。                          | ご家族様や、後見人様から預かった金銭は、個別に預かり金台帳を作成し、定期的に写しを送付している。また現金は施設金庫に保管している。           |
| 6) 利用者の安全確保                                |   |
| ①安心・安全な福祉サービスの提供を目的としたリスクマネジメント体制について。     | 夕刻、各居室や出入口の施錠を確認。また敷地の門扉は20時に施錠を行い防犯に努めている。                                 |
| ②災害時における利用者の安全確保のための取り組みについて。              | 消防設備業者による機器点検を定期的に受けている。また年に数回災害訓練を行い、避難経路の確認を行っている                         |
| 7) 計画相談                                    |   |
| ①利用者に対するモニタリングが適切に実施されるように相談支援事業所との連携について。 | 6ヶ月に1回それぞれの利用者担当の相談支援専門員と共に担当者会議とモニタリングを実施し、計画の見直しを行っている。                   |
| ②別法人の計画相談作成者数。                             | ②別法人の計画相談作成者数 6 人   |
| ③自法人の計画相談作成者数。                             | ③自法人の計画相談作成者数 11 人  |
| 8) 職員の質の向上に向けた体制作り                         |   |
| ①職員一人一人の育成に向けた取り組みについて。                    | 職員のスキルに合わせたステップアップ研修の取組みを検討し、経験のある職員との勤務配置を行っている。                           |
| 9) 短期入所の受け入れ                               |   |
| ①地域で生活する障がいのある方を積極的に受け入れているか。              | ①(通常受け入れ人数)<br>月平均 17 人   |
| ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。                  | ②(緊急受け入れ人数)<br>年間 1~2 人<br>(緊急受け入れ事例) 1 件                                   |

| 10) 自由意見                    |  |
|-----------------------------|--|
| ①日中支援型を行うにあたって課題について等..自由記入 |  |

※お忙しい中ご協力ありがとうございました。

## 日中サービス支援型指定共同生活援助事業評価シート

記入日：令和 5年 7月 13日

事業所名： シェアハウス喜富 2号館

|  |                                 |                                     |  |          |                                    |
|--|---------------------------------|-------------------------------------|--|----------|------------------------------------|
| 1<br>施設概要  | 事業開所日                           |                                     | 令和4年 5月 1日   |          |                                    |
|  | 法人名称                            |                                     | 一般社団法人C・ネット福岡  |          |                                    |
|  | 事業所名称                           |                                     | シェアハウス喜富 2号館   |          |                                    |
|  | 住居名称・定員数                        |                                     | 住居名： 101・103・104   | 定員： 各 2人 |                                    |
|  |                                 |                                     | 住居名： 201・202・203・204   | 定員： 各 2人 |                                    |
|  | 住居所在地                           |                                     | 飯塚市立岩1077-55   |          |                                    |
| 短期入所定員   |                                 | 定員： 1人                              |  |          |                                    |
| 2<br>利用者状況   | 障害支援区分                          | 人数                                  | 年齢   | 人数       | 主な障害種別利用者人数(重複はそれぞれ記入)             |
|  | 非該当                             | 2人                                  | 10代以下  | 3人       | 身体<br>総数： 人<br>主に日中GHで過ごす人数： 人     |
|  | 区分1                             | 2人                                  | 20代  | 6人       |                                    |
|  | 区分2                             | 2人                                  | 30代  | 3人       | 知的<br>総数： 14人<br>主に日中GHで過ごす人数： 14人 |
|  | 区分3                             | 2人                                  | 40代  | 人        |                                    |
|  | 区分4                             | 6人                                  | 50代  | 2人       | 精神<br>総数： 人<br>主に日中GHで過ごす人数： 人     |
|  | 区分5                             | 人                                   | 60代  | 人        |                                    |
|  | 区分6                             | 人                                   | 65歳以上  | 人        | 難病<br>総数： 人<br>主に日中GHで過ごす人数： 人     |
|  | 合計                              | 人                                   |  |          |                                    |
|  | 障害特性                            |                                     | 医療的ケアの必要な者： 0人   |          |                                    |
|  |                                 | 強度行動障害のある者： 0人                      |  |          |                                    |
| 3<br>運営・支援について   | 1) 日中の支援方法について                  |                                     |  |          |                                    |
|  | ①日中をグループホームに過ごす利用者に対する支援について。   |                                     | ・それぞれの時間の過ごし方を尊重しつつ、生活リズムが乱れないように声かけ支援<br>・部屋や身体が不潔にならないように声かけ支援 |          |                                    |
|  | ②外出や余暇活動の支援について。                |                                     | ・外出先、帰宅時間等の把握<br>・送迎希望者については送迎支援                                 |          |                                    |
|  | ③利用者の希望に沿った適切なサービス利用に関する支援について。 |                                     | ・室内清掃希望者に対する支援<br>・買い物同行支援                                       |          |                                    |
|  | 2) 地域との交流方法                     |                                     |  |          |                                    |
|  | ①利用者と地域との交流を広げるための取り組みについて。     |                                     | ・近隣のスーパー等への買い物同行<br>・施設周りの清掃<br>・近隣住民への挨拶                        |          |                                    |
| 3) 利用者の健康管理  |                                 |                                     |  |          |                                    |
| ①利用者の体調変化による緊急時の迅速な対応について・利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫について。 |                                 | ・緊急時は職員に電話連絡し対応する<br>・服薬支援<br>・体重管理 |  |          |                                    |

事業所名: シェアハウス喜富 2号館

|  |  |
|--|--|
| 4) 利用者の食事について                              |  |
| ①利用者の心身の状況に応じた食事提供と支援について。                 | ・ 栄養が考えられた食事の提供                                      |
| ②食事は利用者の志向を考慮した献立を基本として美味しく食べられる工夫について。    | ・ 好き嫌いの把握<br>・ 行事ごとの特別メニューの提供                        |
| 5) 利用者の権利擁護の配慮について                         |  |
| ①利用者のプライバシー保護と権利擁護に配慮した取り組みについて。           | ・ 研修等にて周知徹底するよう説明                                    |
| ②利用者の権利擁護のため、虐待等の権利侵害の防止・発生時の対応について。       | ・ 報告を受けた場合、迅速に対応                                     |
| ③利用者の金銭管理に方法について。                          | ・ 基本は施設側で管理<br>・ 障がいに合わせてお小遣い制<br>・ 必要な物については、検討し、支給 |
| 6) 利用者の安全確保                                |  |
| ①安心・安全な福祉サービスの提供を目的としたリスクマネジメント体制について。     | ・ 契約時や都度都度、書面や声掛けにてアナウンスを行っている                       |
| ②災害時における利用者の安全確保のための取り組みについて。              | ・ 避難訓練等にて体験していただき、都度都度書面や声掛けにてアナウンスを行っている            |
| 7) 計画相談                                    |  |
| ①利用者に対するモニタリングが適切に実施されるように相談支援事業所との連携について。 | 相談支援事業所様より、モニタリング実施についての連絡調整が入るので連携は取れていると思う         |
| ②別法人の計画相談作成者数。                             | ②別法人の計画相談作成者数 14 人                                   |
| ③自法人の計画相談作成者数。                             | ③自法人の計画相談作成者数 0 人                                    |
| 8) 職員の質の向上に向けた体制作り                         |  |
| ①職員一人一人の育成に向けた取り組みについて。                    | ・ 各職員に合わせた研修受講<br>・ 経験者からの指導                         |
| 9) 短期入所の受け入れ                               |  |
| ①地域で生活する障がいのある方を積極的に受け入れているか。              | ①(通常受け入れ人数)<br>月平均 0 人                               |
| ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。                  | ②(緊急受け入れ人数)<br>年間 0 人<br>(緊急受け入れ事例)                  |

事業所名: シェアハウス喜富 2号館

| 10) 自由意見                   |   |
|----------------------------|---|
| ①日中支援型を行うにあたって課題について等…自由記入 | ・日中支援型としての経験不足<br>・職員の確保や、シフト作成、急な休みに対するシフト変更 |

※お忙しい中ご協力ありがとうございました。

飯塚圏域障がい者地域自立支援ネットワーク委員名簿

任期:2年

期間:令和4年4月～令和6年3月

(五十音順 敬称略)

| 選出分野      |    | 圏域内の推薦機関・団体名                              | 委員氏名   | 所属・役職名                   |
|-----------|----|---|--------|--------------------------|
| 圏域自治体     |    | 嘉麻市                                       | 石坂 禎久  | 社会福祉課長                   |
| 保健・医療関係者  |    | 福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所                         | 大内田 由香 | 健康増進課長                   |
| 圏域自治体     |    | 桂川町                                       | 川野 寛明  | 健康福祉課長                   |
| 相談支援事業所   |    | 社会福祉法人 嘉穂福祉会<br>障がい者相談支援センター さん<br>あいサポート | 神崎 善栄  | 相談支援部会 部会長               |
| 障がい者団体関係者 | 身体 | 飯塚市身体障害者福祉協会                              | 田才 義克  | 理事                       |
| 障がい者団体関係者 | 知的 | 桂川町手をつなぐ育成会                               | 田中 光朗  | 顧問                       |
| 障がい者団体関係者 | 精神 | 嘉飯山地区精神障害者家族会<br>いずみ会                     | 辻田 雄一  | 副会長                      |
| 教育・雇用関係者  |    | 福岡県立直方特別支援学校                              | 西島 美加  | 副校長                      |
| 教育・雇用関係者  |    | 公立大学法人 福岡県立大学                             | 畑 香理   | 人間社会学部 講師                |
| 福祉サービス事業者 |    | 社会福祉法人 佐与福祉会                              | 藤井 俊文  | 社会福祉法人 佐与福祉会<br>運営企画室 室長 |
| 教育・雇用関係者  |    | 福岡県立嘉穂特別支援学校                              | 藤野 和男  | 校長                       |
| 福祉サービス事業者 |    | 社会福祉法人 穂波学園                               | 淵上 忠彦  | 理事長                      |
| 保健・医療関係者  |    | 飯塚医師会                                     | 丸野 陽一  | 丸野クリニック 院長               |
| 教育・雇用関係者  |    | 飯塚公共職業安定所                                 | 宮川 和弘  | 統括職業指導官                  |
| 福祉サービス事業者 |    | 社会福祉法人 嘉穂福祉会                              | 本松 政一郎 | 理事長                      |
| 圏域自治体     |    | 飯塚市                                       | 森山 仁志  | 社会・障がい者福祉課長              |
| 障がい者団体関係者 | 精神 | SHGEピア・ライフ・ネット                            | 山梨 宗治  | 代表                       |
| その他(権利擁護) |    | 社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会                         | 渡辺 進   | 事務局長                     |